



# コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和4年4月22日  
NO. 14



うららかに たくましく ~耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

## うれしい報告 ~全校集会~

秋田さきがけ新聞に「声の十字路 Voice」というコーナーがあります。そのコーナーに、本校の3年生が昨年（鈴木利浩前教頭先生の指導で）の国語の時間に考えをまとめて書いた意見文が最近まで5回にわたり掲載されました。他にも多種多様なすばらしいものもあったと思いますが、今回は新聞社が選定した9人の意見文でした。



- 「お金のこと、もっと学びたい」(伊藤 楓)
- 「漫画を授業に取り入れて」(佐々木藍流)
- 「学校給食を完全無償化に」(高橋亜音)
- 「健康のために主食はご飯」(小松心愛)
- 「性別は男と女の二つじゃない」(湯野澤果林)
- 「席替えは生徒に任せず平等に」(佐々木萌花)
- 「介護の人手不足解消への賃金増を」(木元真優)
- 「質の高い睡眠を心がけよう」(加藤凜乙)
- 「街灯増やし、安全・安心の確保を」(佐々木那津子)

その意見文を読んだ方々からは多くのお電話をいただき、反響の大きさを感じています。その中から三つを紹介します。

### 〈反響その1〉

最終掲載(4/20)の翌日の4月21日(木)朝、名前はおっしゃいませんでしたが、地域の男性より電話をいただきました。「さきがけ新聞の声の十字路、太田中生の意見文を拝見しました。広い視野で物事を考え、数字のデータを分析し、身近なことにも関心をもち、しっかりと自分の意見を述べている様子に感動しました。今の中学生はこんな学習をしているんだと、頼もしく思いました。この後もがんばってください。」

### 〈反響その2〉

最終掲載(4/20)の翌日の4月21日(木)朝、大仙市役所太田支所より電話がありました。「街灯に関する意見文にある道路は具体的にどこでしょうか。支所としても、こういった意見を参考にし、取り組んでいきます。」

### 〈反響その3〉

4月22日(金)朝、地域の女性から電話をいただきました。「街灯に関する意見文、本当にありがとうございます。私も以前から同じような思いをもっていました。いろいろなどころにお願いしたこともありましたが、なかなか実現にはいたりませんでした。今回の新聞はとても話題になりました。ありがとうございました。」

メディアの力は大きいものですが、子どもたちからの発信は、より大きいものだとことを再認識しています。地域からのうれしい反響を紹介しながら、太田地域の発展・活性化のため、中学生目線の考え・意見を発信することを今後も続けていこうということ、4月22日(金)朝の全校集会で確認しました。この子どもたちの考え・意見が未来の太田を築いていくことにつながればと願っています。

## 1年生の学年ネーム



1年生の学年ネームが決まり、4月22日(金)の全校集会で、全校に披露しました。

1年生全員がネーム案を考え、その中から案を絞り、プレゼンと投票を経て決定した学年ネームで、「きせき」と読みます。このネームには、「48人の輝きが積み重なって、幸せの山ができるように」という願いが込められています。

幸せの山をつくるキーワードは、「48人」です。すなわち1年生全員が誰一人欠けることなく自分のやるべきことに全力を尽くし、互いを認め合いながら学校生活を送ることが大切です。「輝積」の積の字はかけ算の答のことです。一人一人のがんばりをかけ算にすれば、より大きな幸せとなることでしょう。ただし、かけ算では一つでも0があるとその積は0になってしまいます。1年生誰一人0となることなく大きな幸せを築いてほしいと願っています。「蒼嶺(2年生)」「翠陽(3年生)」学年共々よろしくお祈りします。